

八 戸

津久家大悟さん（右から3人目）の助言を受けながら花を飾る参加者



八学大生企画イベントにフランス人ら参加

花、茶道で国際交流

日本文化に感動「穏やかな気持ち」

八戸学院大の学生有志が企画した国際交流イベントが6日、八戸市の民泊・シェアハウス「白銀ハウス」で開かれた。同大は昨年12月からフランス人ボランティア2人を受け入れて異文化交流事業を進めており、今回はクラウドファンディング（CF）で事業を支援した人への返礼の一環。参加者10人がフラワーアレンジメントと茶道を通じ、親睦を深めた。

（桑田友人）

フランスと日本に加え、トルコ、インドネシアから参加。フラワーアレンジメントでは、階上町で花卉販売を手掛ける「草花や 花火」の津久家大悟さん（45）の助言を受けながら、参加者がさまざまな理由で廃棄される予定だった花を巧みに飾り付けた。

その後、八戸聖ウルスラ学院中3年で茶道部の吉田更玖さん（14）が心を込めてたてたお茶を堪能。インドネシアから来し、北日本造船（同市）で働くアルフィアノ・アディティヤ・ファウジンさん（25）は「花や茶道などの文化に触れるのは初めてで、とても穏やかな気持ちになった」と笑顔で話した。

オンドクス・マイス大（トルコ）のキュルシャト・デミルユレキ教授（55）は「抹茶を準備してくれた彼のリスペクトを感じた」と日本の文化に感動した様子だった。



参加者は吉田更玖さん（右）がたてた茶を楽しんだ